

國學院大學法学部法律学科法律専門職専攻を志願する皆様へ

國學院大學法学部は、令和7年度新入生より、公募制自己推薦（AO型）入学試験におきましても、法律専門職専攻の学生の受け入れを開始します。

1. 入学者選抜の方法

法律専門職専攻の受験生の選抜は、小論文試験と面接試験の成績に基づいて実施します。法律専門職専攻は、法曹（裁判官・検察官・弁護士）や公務員など、法律の専門的知識を活かす職業に就くことを目指す学生を受け入れる専攻です。これらの職業では、情報を収集・整理・分析する能力や、法的意見を論理的に表現する能力などが必須になると考えられます。そこで、公募制自己推薦（AO型）入学試験においては、とくに情報を整理・分析する基礎的な力や論理的思考力、意見を一定の形式にしたがって文章で表現するための基礎的な力、さらには、これらの職業に対する強い就業意欲に特に留意して判定するため、法律専門職専攻は、法律専攻や政治専攻とは異なる選考方法を採用しています。

2. 小論文試験に関するアドバイス

小論文試験では、判例や行政文書などの法律に関連するいわゆる「実用的な文章」等を素材とした大問と、あらかじめオンライン授業動画を視聴し学習してきたことを前提として一定の形式に従った論述に取り組む大問とが出題される予定です。

前者の大問では、判例や行政文書などの法律に関連する実用的な文章を素材に、それを精確に読む基礎的な読解力や、情報の整理・分析能力、論理的思考力を問う問題が出題されます。こうした文章は、皆さんにとって、非常に長く、難解な言葉を使った親しみにくいものにみえるのかもしれませんが、これらの文章は、相手にできるだけ精確に伝わるよう、例えば、言葉を正確に定義して使ったり、適宜小見出しを付けたりするなどの工夫も凝らしています。そこで、各自の興味・関心のあるテーマについての判例や行政文書などを使って、目次や小見出しなどを手がかりにして文章の全体の構成を把握し、メリハリを付けて読む（文章を読む目的を踏まえ、精読する箇所とそうでない箇所とを区分する）練習をすることをお勧めします。

後者の大問では、詳しくは授業動画の中で説明される「法的三段論法」と呼ばれる形式に従って論述を組み立てることのできる基礎的な文章作成能力を問う問題が出題されます。この形式自体は、例えば、数学や物理などで、公式に具体的な数値を代入する作業に似ているところがあります。ともあれ、動画の良いところは、分からなかったところを繰り返し見直すことができる点にあるので、授業動画をよく閲覧して学習しましょう。

小論文試験の具体的なイメージを掴むことができるよう、國學院大學のホームページで、試行問題（サンプル問題）を公表します。また、令和6（2024）年8月3日（土曜日）・4日（日曜日）・24日（土曜日）のオープンキャンパスでは、試行問題（サンプル問題）の解答・解説を行います。

3. 面接試験に関するアドバイス

ここでは、國學院大學法学部法律専門職専攻で学ぶことへの志向性ととも、将来の進路への志向性も問われます。面接試験対策として、とくに、将来の進路を実現するために、どのような試験を乗り越えなければならないのか、予め調べておきましょう。そこから逆算して、法律専門職専攻でどのように学修を進めたいと考えているのかも、ある程度計画しておく良いでしょう。

以上